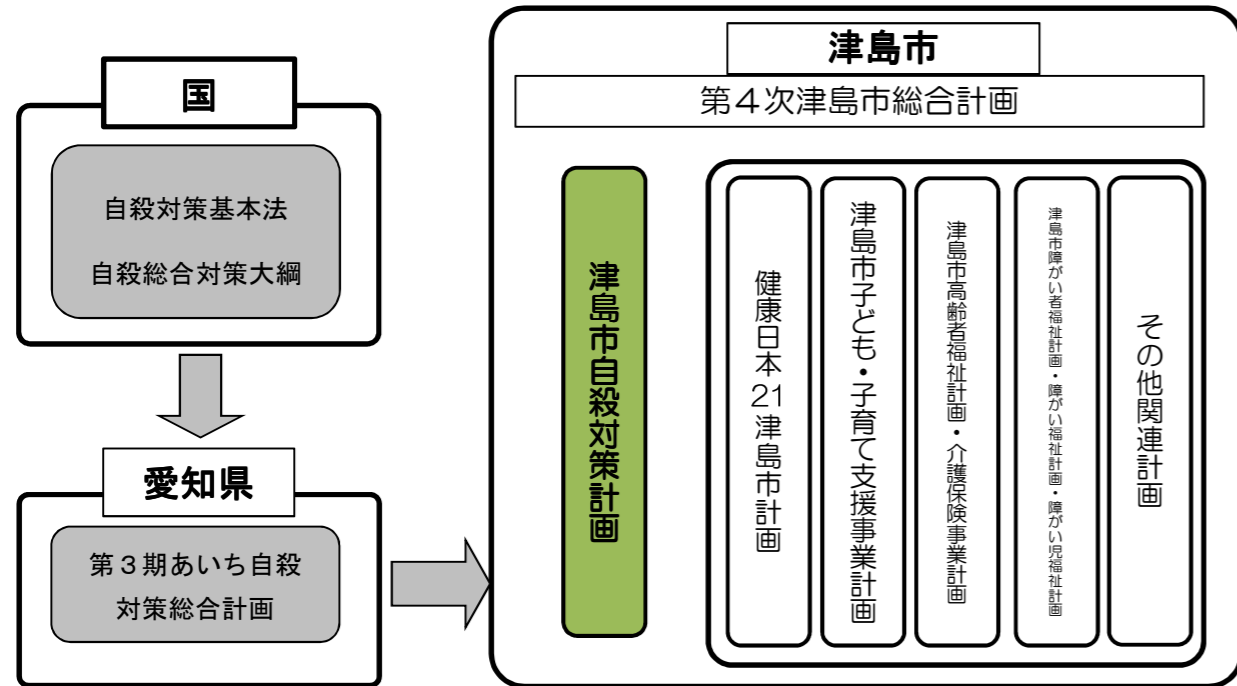


津島市自殺対策計画の策定について（概要版）

○計画の位置付け

本計画は、第4次津島市総合計画を上位計画とし、津島市の関連計画と整合性を図り、国の「自殺対策基本法」や愛知県の計画である「第3期あいち自殺対策総合計画」とも整合性を図りながら策定。



○計画の期間

計画の期間は、2019年度から2023年度までの5年間。

○自殺対策計画策定委員

医師会会長、歯科医師会会長、薬剤師会会長、社会福祉協議会会長、民生・児童委員協議会連絡会長、老人クラブ連合会会長、神守小学校区コミュニティ推進協議会会長、保健所長、商工会議所専務理事、教育長、東小学校校長、津島北高等学校校長、ハローワーク津島所長 【13名】

○ワーキングメンバー

民生委員、津島市老人クラブ連合会代表、地域包括支援センター職員、あいち海部農業協同組合職員、社会福祉協議会職員、中学校養護教諭、高等学校養護教諭、市職員（17課）等【34名】

○策定スケジュール

日時	策定委員会	ワーキング	内容
平成30年6月26日（火）	○	○	・自殺の現状、計画策定の趣旨、策定体制についての説明及び意見交換
7月24日（火）	-	○	・各課、関係機関の取組 意見交換
8月28日（火）	-	○	・実現可能な自殺対策への取組 意見交換
9月10日（月）	-	○	・ゲートキーパー養成講座受講 意見交換
10月30日（火）	-	○	・計画案について 意見交換
11月13日（火）	○	-	・中間報告
平成31年2月19日（火）	-	○	・自殺実態プロファイル（2018更新版）の情報共有、最終計画案の検討
3月12日（火）	○	○	・完成報告

○策定委員会 全3回、ワーキング 全7回実施

○パブリックコメント 平成31年1月7日（月）から1月31日（木）まで

津島市自殺対策計画の概要

津島市の現状

地域自殺実態プロファイル【2018】より

	H25	H26	H27	H28	H29	合計	平均
自殺統計 自殺者数(自殺日・住居地)	18	12	8	13	11	62	12.4
自殺統計 自殺死亡率(自殺日・住居地)	27.5	18.4	12.4	20.3	17.3	-	19.2

津島市の自殺者の特徴

- 高齢者の自殺
男女共に60歳以上の割合が多い。
- 勤務者の自殺
40～50歳代の有職男性が多い。
- 生活困窮者、無職者、失業者の自殺
20～50歳代の無職男性が多い。

津島市の重点施策

- 高齢者への対策
- 勤務・経営に関する対策
- 生活困窮者への対策
- 無職者・失業者への対策

自殺を防ぐために大切なこと

- 自分の存在意義を感じることができる。
- 自己肯定感を高めることができる。
- 命の大切さを知ることができる。



津島市の自殺対策に関する取組

I 基本施策に関する取組

- ①地域におけるネットワークの強化
 - ・顔の見える関係づくり
 - ・学校と地域の情報交換の場づくり
 - ・助けを求めやすい環境づくり
- ②自殺対策を支える人材の育成
 - ・声掛けの方法、聴き方を学ぶ機会の充実
 - ・誰もが「支える側」になれることを伝える
- ③住民への啓発と周知
 - ・広報、啓発リーフレットによる周知
 - ・講座、教育の場を活用した周知
- ④生きることへの促進要因への支援
 - ・おとなとこどもの信頼関係づくり
 - ・命の大切さ（自分と他人）を知ること
 - ・自分の存在意義を感じることができること
- ⑤児童生徒のSOSの出し方に関する教育の実施
 - ・自己肯定感を高める教育の充実
 - ・年代に合わせた教育の充実

II 重点施策に関する取組

- ①高齢者への対策
 - ・高齢者を支えるしくみの充実
- ②勤務・経営に関する対策
 - ・地域・職域での連携の充実
- ③生活困窮者への対策
 - ・ワンストップサービスによる支援の実施
- ④無職者・失業者への対策
 - ・ハローワークとの連携
 - ・情報提供の充実

津島市の目標値

2023年までに自殺死亡数を14.7以下まで減少させる。
(人口10万対)

【※年間の自殺者数を11人(H29)⇒9.4人にする。】